

# 資格にチャレンジ

卒業後の自分を想像して、焦ったり悩んだりする時期もあるだろう。専門分野の「資格」取得も気になることの一つ。NHK教育テレビの資格情報番組「資格☆はばたく」では、毎月1つの資格をテーマに、取得方法や実際の仕事などを放送している。5月にはライフデザイン学部生活支援学科の高野龍昭准教授が「ケアマネジャー」の講師として出演。6月には「旅行業務取扱管理者」のテキスト内に国際地域学部国際観光学科の森下晶美准教授のアドバイスや国際地域学部の学生も登場した。そこで今回、注目されている2つの資格をピックアップ。

## ケアマネジャー [介護支援専門員]



### 介護・福祉の最前線を担うリーダーは、高齢化社会の救世主!

2000年4月に介護保険制度が施行され、誕生したケアマネジャー（介護支援専門員）。介護を必要とする方やその家族の相談役となり、地域の第一線で介護を支えるキーパーソンとして需要が高まっている。

ケアマネジャーの仕事は、介護保険法で要支援・要介護認定を受けた人からの相談内容に合わせたケアプラン（介護サービス計画）を作成し、そして適切な介護サービスを受けられるよう手配すること。そのためには、それぞれの心身の特徴や生活で起こりうる問題を熟知しなければならない。生活を取り巻くハード・ソフトの両面から相談に応じてプランニングを行い、「聞き役」を務めるのが大切なポイントだ。

人口の高齢化も加速の一途を辿り、多くの人手を必要としているケアマネジャーだが、受験資格として最低でも福祉・医療の専門職として5年間の実務経験を積み必要がある。一見長いようにも感じるが、仕事をしながら資格取得を目指すことができるので、経済的にも安心して準備ができるだろう。

なにより、実践を通して必要な知識を習得するため「人生観を変える出会いがたくさんある」と語る高野准教授も、6年前までは長い間ケアマネジャーとして活躍していた。震災の被災地でも、高齢者の生命とくらしを最前線で支えているケアマネジャーという仕事は、いま若い力を求めているのだ。



介護は「思いやり」だけでは成り立たない。「知識」と「技術」がポイントになる。



## 旅行業務取扱管理者 [国内・総合]



### 旅行業は心の癒し、旅づくりで日本を応援

旅に出るときと同じくらい、旅の計画、手配、そして思い出話を花を咲かせることは心が躍るもの。また、旅先で美味しいものを食べ、自然や文化に触れて感動し、羽を伸ばすことは、普段の生活に新しい刺激となり活力を与える。旅行業とは、心を癒すパワーがあり、観光資源を活かし国内外の交流を促進することのできる経済・社会に大きく貢献する産業ともいわれている。

3月に大きな災害が日本を襲い、東北地方では観光業での復興にも力を入れている。そんな中、旅行業務取扱管理者は旅行のプロフェッショナルとして、経済そして精神面から日本の復興を応援していくことが可能な専門職といえるだろう。旅行は目には見えないサービス形態で、人の手によって大きく変化するもの。旅行業約款というお客様との契約、消費者保護の考え方をしっかりと学ぶことが重要となる。

この資格は旅行業界のほかにも、ホテルや運輸業界にも高く評価されている。資格取得を目指し勉強したことで、自分自身の旅行プランを経済的かつ安全に立てられるようになったり、得た知識で旅先の地理や観光資源を深く感じることもでき、人一倍旅行を楽しめる魅力もある。大好きな旅行を仕事にでき、かつ社会貢献につながる国家資格は、時間がたっぷりある学生のうちに取得し、家族や仲間との旅行計画の際に活用してみては。



「他の業界に就職した学生からも、資格取得での勉強が大変役に立ったと声をよく聞きます」(森下准教授)

